

2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震後、本工法実績の一つ福島県郡山の地を訪れたが、ジオアンカーで補強を図った法面に変状は見られず健全な状態が保たれていた。その一方で周辺の他工法で対策された法面は変状をきたし、その上位の道路に損傷が表れていた。総じてジオアンカーによる補強の有効性を実感すると共に耐震性能が垣間見えた。

福島県郡山市内実績地を追跡



施工直後



施工地 地震発生後
路面のひび割れや沈下の発生無し

周辺で確認された被害の様子



押し出し



陥没

斜面防災・緑化工協会

Slope Disaster Prevention and Greening Association

事務局 〒310-0903 茨城県水戸市堀町959番地

株式会社水戸グリーンサービス内

TEL:029(225)2754 FAX:029(227)2783

E-mail:info@sdp-g.jp URL:http://www.sdp-g.jp



土砂のり面の表面補強対策

ジオアンカー®補強土工法



斜面防災・緑化工協会

Slope Disaster Prevention and Greening Association

工法の特徴

ジオアンカー補強土工法は、土砂で構成された切土・盛土法面・自然斜面に限定した地盤表面補強工法である。地中に抵抗板を拡翼展開して引抜抵抗力を獲得し受圧板が反力体として機能することで、両者間の土砂の動きが拘束され、斜面の安定度を高めることができる。

- ジオアンカーは打込み方式で地中に抵抗板を拡翼展開することで支圧抵抗を獲得し、表層すべり発生時に引抜抵抗力を発動させて抑止する。
- ジオアンカー標準打設作業は、専用打込み棒を用いて人力作業で行う。よって、大型重機等は不要となり、現場が高所や狭隘な難条件の立地であっても適用可能である。また、緊急性のある現場に対する応急処置として用いることも効果的である。
- ジオアンカー打撃は人力以外にも削岩機等を利用した空圧や油圧による打撃力導入も可能である。（※拡翼展開時は人力での打撃力導入に限定される。）
- 植生工や吹付工との併用が可能である。また、これらで受圧板を被覆し、覆い隠す仕上げも可能。



アンカー型式

型式	アンカー作用長〔m〕	拡翼抵抗板の引抜抵抗力〔KN〕	防食仕様
ジオアンカー10号	1.0	10	熔融亜鉛メッキ
ジオアンカー20号	1.0	20	

施工手順

